



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月7日

上場会社名 アークランズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9842 URL <https://www.arclands.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (COO) (氏名) 坂本 晴彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊野 公敏 TEL 048-610-0641
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	237,813	0.9	12,702	4.1	15,713	26.4	9,743	8.0
2024年2月期第3四半期	235,625	△0.6	12,207	△22.1	12,428	△23.5	9,019	△3.6

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 6,724百万円 (△33.4%) 2024年2月期第3四半期 10,096百万円 (△10.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	156.40	-
2024年2月期第3四半期	188.53	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第3四半期	344,362	121,049	35.0	1,933.64
2024年2月期	350,721	116,810	33.2	1,866.13

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 120,464百万円 2024年2月期 116,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2025年2月期	-	20.00	-	-	-
2025年2月期(予想)	-	-	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	1.4	18,500	14.8	19,000	14.5	12,000	31.5	192.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期3Q	64,733,372株	2024年2月期	64,733,372株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	2,432,230株	2024年2月期	2,424,578株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期3Q	62,301,142株	2024年2月期3Q	47,842,923株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. その他	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年3月1日から2024年11月30日まで)におけるわが国経済は、経済活動の正常化とインバウンド消費の拡大に支えられ、回復基調を維持しています。しかし、ウクライナ情勢の長期化や中東地域の緊張による原材料価格やエネルギー価格の高止まり、さらには急激な為替相場の変動が重なり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

加えて、中国経済の減速による国内企業の輸出及び生産活動への影響や、国内の金融市場における金利上昇の動きも経済全体への波及が懸念されます。

このような環境下、「くらし、満たす。こころ、満たす。」をスローガンに掲げる当社グループは、主力とする住関連(小売、卸売、不動産)と外食の両事業を深耕・発展させ、消費者の生活により近い形で網羅的な商品、サービスの提供に努めて参りました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高及び営業収入は248,945百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は12,702百万円(前年同期比4.1%増)、経常利益は15,713百万円(投資有価証券売却益による影響で前年同期比26.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,743百万円(前期の固定資産売却益による影響で前年同期比8.0%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①小売事業

小売業界におきましては、雇用・所得環境の改善が進む一方で、物価上昇やエネルギー価格の高騰が消費者の生活防衛意識を高め、消費行動は慎重さを増しています。加えて、人件費や物流コストの上昇、さらにはオンラインショッピングや他業態との競争激化も、業界全体にとって厳しい環境をもたらしています。

このような環境下、小売事業主力のホームセンター部門におきましては、品目別では、家庭用品、カー・レジャー用品が堅調に推移した一方、園芸用品が苦戦いたしました。また、2024年7月1日を効力発生日として行った株式会社フレッシュハウスの完全子会社化の影響によりリフォームサービスの売上高及び営業収入は前年同期比12.9%増となりました。

ホームセンターの11月末の店舗数は、7月にスーパーセンタームサシ長岡店(新潟県長岡市)の移転増床、10月にスーパービバホーム湘南平塚店(神奈川県平塚市)の出店と3店舗の閉店をした結果、2店舗減少し141店舗となりました。

この他、前年下期に行った価格改定により売上総利益率が改善したことに加えて、販売費及び一般管理費については新規出店コスト、人件費単価、エネルギー価格の上昇等があったなか、人員配置の適正化、宣伝広告のデジタルシフト、物流の効率化等により抑制を図りました。

その結果、小売事業の売上高及び営業収入は193,703百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は5,025百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

②卸売事業

卸売事業におきましては、前年下期に行った価格改定と取扱い商品の見直しにより売上総利益率が改善した結果、売上高及び営業収入は3,429百万円(前年同期比11.3%減)、営業利益は496百万円(前年同期比136.9%増)となりました。

③外食事業

外食事業における主力のどんかつ専門店「かつや」(国内)におきましては、店舗のDX化の推進に加え、10回のフェアメニューと1回のキャンペーンを実施いたしました。その結果、1～9月における直営店の既存店売上高前年比は104.7%と好調に推移いたしました。出退店につきましては、直営店5店舗、FC店11店舗の出店、FC店2店舗の閉店により、9月末の店舗数は純増14店舗の486店舗となりました。

からやま・からあげ縁(国内)につきましては、ランドメニューの改定に加え、8回のフェアメニューと2回のキャンペーンを実施いたしました。出退店につきましては、「からやま」直営店4店舗、FC店1店舗の出店、FC店6店舗の閉店、「からあげ縁」FC店2店舗の出店、FC店3店舗の閉店により、9月末の店舗数は純減2店舗の159店舗となりました。

以上の結果、売上高及び営業収入は40,754百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は4,339百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

④不動産事業

当社の不動産事業は、主に当社が開発した店舗のテナント賃料を収入源としています。

これらの店舗には、核として当社が運営するホームセンターが出店しており、家電量販店、スーパーマーケット等のテナントを誘致し併設することで、相互送客の効果が生まれ、安定した収益を確保しつつ、店舗の集客力を向上させています。

当第3四半期連結累計期間においては前年6月に開業したアークスクエア御経塚、今年10月に開業したアークスクエア湘南平塚の影響により営業収益が増加したものの新規出店による初期費用等の影響があり、売上高及び営業収入は10,301百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は2,572百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

⑤その他

その他にはフィットネス事業「JOYFIT」5店舗及び「FIT365」6店舗を含んでおります。

今年5月にFIT365ムサシ金沢店、10月にFIT365柏崎柳田店を出店した影響により、売上高及び営業収入は756百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は50百万円（前年同期比18.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して6,359百万円減少し、344,362百万円となりました。これは主にその他（流動資産）が8,693百万円（主に投資有価証券の売却による未収入金）、建物及び構築物が3,553百万円、敷金及び保証金が2,066百万円増加し、土地が13,125百万円、投資有価証券が9,277百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比較して10,598百万円減少し、223,312百万円となりました。これは主に買掛金が16,984百万円、その他（流動負債）が4,395百万円（主に新店設備投資の未払金）増加し、長短期借入金が25,337百万円、電子記録債務が5,009百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比較して4,238百万円増加し、121,049百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が7,273百万円増加し、その他有価証券評価差額金が3,086百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、2024年4月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,323	16,020
受取手形及び売掛金	9,560	11,478
商品及び製品	52,840	53,926
その他	4,746	13,440
貸倒引当金	△29	△116
流動資産合計	85,441	94,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	95,781	99,334
土地	76,049	62,924
リース資産(純額)	17,805	17,628
その他(純額)	4,982	6,901
有形固定資産合計	194,618	186,789
無形固定資産		
のれん	17,308	16,486
商標権	7,906	7,551
その他	7,227	7,513
無形固定資産合計	32,443	31,550
投資その他の資産		
投資有価証券	12,051	2,773
敷金及び保証金	22,825	24,891
その他	3,360	3,655
貸倒引当金	△18	△48
投資その他の資産合計	38,218	31,271
固定資産合計	265,280	249,612
資産合計	350,721	344,362

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,083	34,067
電子記録債務	13,751	8,741
短期借入金	34,000	19,000
1年内返済予定の長期借入金	10,068	31,856
1年内償還予定の社債	-	100
リース債務	1,649	1,703
未払法人税等	4,717	2,328
賞与引当金	1,830	2,967
株主優待引当金	198	167
契約負債	578	696
資産除去債務	1	-
その他	13,030	17,426
流動負債合計	96,908	119,054
固定負債		
社債	100	-
長期借入金	84,881	52,756
リース債務	23,665	23,268
長期預り保証金	14,225	15,519
退職給付に係る負債	291	419
役員退職慰労引当金	180	180
資産除去債務	5,639	5,768
その他	8,019	6,345
固定負債合計	137,002	104,258
負債合計	233,911	223,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	11,312	11,312
利益剰余金	98,518	105,791
自己株式	△3,258	△3,275
株主資本合計	113,034	120,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,301	214
為替換算調整勘定	△59	△41
その他の包括利益累計額合計	3,241	172
非支配株主持分	534	584
純資産合計	116,810	121,049
負債純資産合計	350,721	344,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	235,625	237,813
売上原価	148,703	148,876
売上総利益	86,921	88,936
営業収入		
賃貸収入	10,527	10,915
その他	115	216
営業総利益	97,564	100,069
販売費及び一般管理費	85,357	87,367
営業利益	12,207	12,702
営業外収益		
受取利息	40	36
受取配当金	217	237
仕入割引	311	69
投資有価証券売却益	-	2,442
為替差益	5	14
持分法による投資利益	170	172
その他	346	958
営業外収益合計	1,092	3,932
営業外費用		
支払利息	805	897
その他	65	22
営業外費用合計	870	920
経常利益	12,428	15,713
特別利益		
固定資産売却益	2,610	4
その他	557	-
特別利益合計	3,168	4
特別損失		
固定資産除却損	39	94
店舗閉鎖損失	190	302
解体撤去費用	86	87
貸倒引当金繰入額	-	81
その他	9	116
特別損失合計	325	683
税金等調整前四半期純利益	15,271	15,035
法人税、住民税及び事業税	6,239	5,474
法人税等調整額	△810	△233
法人税等合計	5,428	5,241
四半期純利益	9,843	9,793
非支配株主に帰属する四半期純利益	823	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,019	9,743

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	9,843	9,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	213	△3,086
為替換算調整勘定	58	16
繰延ヘッジ損益	△26	-
持分法適用会社に対する持分相当額	7	1
その他の包括利益合計	253	△3,068
四半期包括利益	10,096	6,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,258	6,674
非支配株主に係る四半期包括利益	837	49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(固定資産の譲渡)

当社は、2024年12月17日開催の取締役会において、下記の通り固定資産を譲渡することを決議し、2024年12月23日に売買契約を締結いたしました。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用及び財務基盤の強化を図るため。

本物件は、店舗敷地として使用しておりますが、譲渡先との間で賃貸借契約を締結し本物件の使用を継続する予定であります。

2. 譲渡先の概要

譲渡先は国内法人ですが、譲渡先との秘密保持の観点から開示を控えさせていただきます。

なお、譲渡先と当社との間には記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

また、当社の関連当事者には該当いたしません。

3. 譲渡資産の内容

譲渡資産：当社所有のスーパービバホーム三郷店及びスーパービバホーム埼玉大井店の土地の信託受益権

譲渡益：約652百万円

※譲渡価額及び帳簿価額については、譲渡先との秘密保持の観点から開示を控えさせていただきます。

4. 譲渡の日程

取締役会決議日：2024年12月17日

契約締結日：2024年12月23日

譲渡日：2025年3月4日（予定）

5. 当該事象の損益への影響

当該固定資産の譲渡により、2026年2月期第1四半期に固定資産売却益約652百万円を特別利益に計上する予定であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	8,033百万円	8,135百万円
のれんの償却額	1,150	1,156

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益(注)1								
(1) 外部顧客への営業収益	193,907	3,864	37,795	9,977	245,544	724	-	246,268
(2) セグメント間の内部営業 収益又は振替高	4	5,130	-	1,286	6,421	0	△6,421	-
計	193,911	8,995	37,795	11,263	251,965	724	△6,421	246,268
セグメント利益	4,887	209	4,064	2,924	12,085	62	59	12,207

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年3月1日 至2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益 (注) 1								
(1) 外部顧客への営業収益	193,703	3,429	40,754	10,301	248,189	756	-	248,945
(2) セグメント間の内部営業 収益又は振替高	4	4,786	-	1,412	6,203	-	△6,203	-
計	193,708	8,215	40,754	11,713	254,392	756	△6,203	248,945
セグメント利益	5,025	496	4,339	2,572	12,434	50	217	12,702

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)		増減		(参考) 2024年2月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
卸売事業	3,864	1.6	3,429	1.4	△435	△11.3	4,922	1.5
小売事業	193,907	78.7	193,703	77.8	△203	△0.1	253,862	78.1
ホームセンター部門	186,624	75.8	186,773	75.0	149	0.1	244,225	75.1
建築関連資材・用品及 びDIY関連用品	64,486	26.2	64,151	25.8	△335	△0.5	84,345	25.9
リフォームサービス	10,751	4.4	12,142	4.9	1,390	12.9	14,027	4.3
家庭用品	54,850	22.3	54,621	21.9	△229	△0.4	73,824	22.7
カー・レジャー用品	18,326	7.4	18,636	7.5	310	1.7	24,384	7.5
園芸用品	18,631	7.6	18,001	7.2	△630	△3.4	22,079	6.8
ペット	18,675	7.6	18,017	7.2	△657	△3.5	24,301	7.5
その他	901	0.3	1,202	0.5	301	33.4	1,263	0.4
その他小売部門	7,282	2.9	6,930	2.8	△352	△4.8	9,637	3.0
外食事業	37,795	15.3	40,754	16.4	2,959	7.8	51,813	16.0
不動産事業	9,977	4.1	10,301	4.1	324	3.2	13,359	4.1
その他	724	0.3	756	0.3	32	4.5	963	0.3
連結営業収益	246,268	100.0	248,945	100.0	2,676	1.1	324,921	100.0

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. ムサシ・ビバホームのシステム統合及び品揃えの見直しに伴い、第1四半期連結会計期間から小売事業における品目区分の分類を変更いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間及び2024年2月期についても分類変更後の金額及び構成比を記載しております。